

課題整理総括表(熊本バージョン)

利用者名事例№殿

作成日

自立した日常生活の
阻害要因
(心身の状態、環境等)

①

②

④

⑤

状況の事実の「現在」欄で「自立」あるいは「支障なし」以外が選択されている項目を分析した上で、より根本的で重要な要因を最大6項目程度に絞り、記載する。

利用者及び家族の生
活に対する意向

利用者及び家族が望む暮らしの意向のうち、課題を抽出する上で重要と思われる情報を整理して、簡潔に記載する。

状況の事実 ※1		現在 ※2				要因 ※3	改善/維持の可能性 ※4			※2 の状況・支障の内容等	※4 の判断根拠	見 通 し ※5	生活全般の解決すべき課題 (ニーズ) 【案】	※6				
移動	室内移動	自立	見守り	一部介助	全介助		改善	維持	悪化	「現在」欄で「自立」あるいは「支障なし」以外を選択した項目について、現在の認定有効期間を見通して、必要な援助を利用した場合に、現在の状況が改善／維持する可能性を検討し、「改善」「維持」「悪化」から選択する。 「現在」の欄で「自立」あるいは「支障なし」以外を選択した項目について、その要因として考えられるものを「自立した日常生活の阻害要因」欄から選択し、その記載した番号(丸数字)を記載する。								
	屋外移動	自立	見守り	一部介助	全介助		改善	維持	悪化									
食事	食事内容	支障なし 支障あり					改善	維持	悪化						能力(できる、できない)ではなく、実行状況(している、していない)で選択する。	「見通し」欄の記載内容をふまえて記載する。利用者が望む生活をとらえていることが前提である。		
	食事摂取	自立	見守り	一部介助	全介助		改善	維持	悪化									
	調理	自立	見守り	一部介助	全介助		改善	維持	悪化									
排泄	排尿・排便	支障なし 支障あり					改善	維持	悪化									
	排泄動作	自立	見守り	一部介助	全介助		改善	維持	悪化									
口腔	口腔衛生	支障なし 支障あり					改善	維持	悪化									
	口腔ケア	自立	見守り	一部介助	全介助		改善	維持	悪化									
服薬		自立	見守り	一部介助	全介助		改善	維持	悪化							当該ケアプランの短期目標の期間を見据え、どのような援助をすることにより、状況がどのように変化することが見込まれるかを記載する。		
入浴		自立	見守り	一部介助	全介助		改善	維持	悪化									
更衣		自立	見守り	一部介助	全介助		改善	維持	悪化									
掃除		自立	見守り	一部介助	全介助		改善	維持	悪化									
洗濯		自立	見守り	一部介助	全介助		改善	維持	悪化									
整理・物品の管理		自立	見守り	一部介助	全介助		改善	維持	悪化									
金銭管理		自立	見守り	一部介助	全介助		改善	維持	悪化									
買物		自立	見守り	一部介助	全介助		改善	維持	悪化									
コミュニケーション能力		支障なし 支障あり					改善	維持	悪化									
認知		支障なし 支障あり					改善	維持	悪化									
社会との関わり		支障なし 支障あり					改善	維持	悪化									
褥瘡・皮膚の問題		支障なし 支障あり					改善	維持	悪化									
行動・心理症状(BPSD)		支障なし 支障あり					改善	維持	悪化									
介護力(家族関係含む)		支障なし 支障あり					改善	維持	悪化									
居住環境		支障なし 支障あり					改善	維持	悪化									
昼夜逆転		支障なし 支障あり					改善	維持	悪化									
							改善	維持	悪化									
							改善	維持	悪化									

※1 本書式は総括表でありアセスメントツールではないため、必ず別に詳細な情報収集・分析を行うこと。なお「状況の事実」の各項目は課題分析標準項目に準拠しているが、必要に応じて追加して差し支えない。

※2 介護支援専門員が収集した客観的事実を記載する。選択肢に○印を記入。

※3 現在の状況が「自立」あるいは「支障なし」以外である場合に、そのような状況をもたらしている要因を、様式上部の「要因」欄から選択し、該当する番号(丸数字)を記入する(複数の番号を記入可)。

※4 1年後における状況の改善/維持/悪化の可能性について、介護支援専門員の判断として選択肢に○印を記入する。

※5 「要因」および「改善/維持の可能性」を踏まえ、要因を解決するための援助内容と、それが提供されることによって見込まれる事後の状況(目標)を記載する。(介護認定の場合は、短期目標の設定期間を見据える)

※6 本計画期間における優先順位を数字で記入。ただし、解決が必要だが本計画期間に取り上げることが困難な課題(合意できなかったニーズ)には「ー」印を記入。

○自立した日常生活の阻害要因は、客観的事実に限り、解決にむけて何らかの対策が考えられるものとする。